

（日刊）第276号 1990年8月6日第3種郵便物認可

日刊
ゲンダイ
週末特別版

弥生賞 金融 必ずほ標的

院長掲載誌

しい検査内容発覚 3ページ

長嶋本大丈大 長嶋に

脳梗塞

気になる今後



2日前は元気があったが…長嶋一茂氏と主治医の内山真一郎教授



極めて重大なこれからの1週間

専門医が病状を徹底分析
再発作は？
言葉は？
後遺症は？

Asahi 本生

キレがよくて、しっかりうまい。
アサヒ本生

全酒類

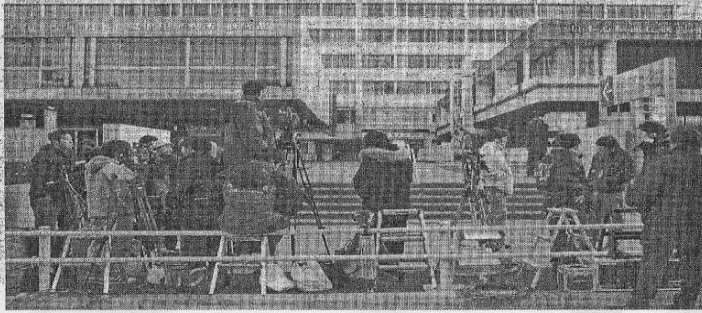
飲酒は20歳になってから。あきかんはリサイクル。 アサヒビール株式会社

「画像診断では中程度の事」と神妙な顔つきで話
脳梗塞とみられる。左大し、長男の一茂氏(38)は
脳に梗塞があり、右半身「意識ははっきりしてら
に軽いマヒがあります」。緊急入院したアテ
ネ五輪野球日本代表の長嶋茂雄監督(68)の病状
について、きのう(5)様子だった。

日入院先の東京女子医 今後は外科的な手術は
大病院(東京・新宿区)が記者会見を行った。
病名は心原性脳塞栓 取る薬を投与していくこ
種である心房細動が起こり、心臓の中にできた血
栓が左の大脳で詰まった
という。

主治医の内山真一郎 監督の容体はスバリ、
経内科教授は「症状はこの1週間が重大なヤマ
安定で軽いとは言えない。最初の1週間が大
に、脳も一度、血管が傷
つくと全体が腫れ上がり
ます。この先、7、14日
間が最も腫れがひどくな
る。この腫れをいかに抑
えるかが治療のポイント
になる」と(1)VAJIBU
あき脳神経外科クリニック
ク・工藤千秋院長)
今後の問題は、再発の危
険性が高いことだ。も
し、再び脳梗塞を起こ
たら命にかかわってハ

退院はいつになるのか……



後遺症が残り、球界復帰は絶望的の恐れも

「特に長嶋氏のように今の注意が求められます」と、梗塞した部分が破裂が残り、出血する恐れがある。今月に入ってから8日間の入院している。球団のキャンプを視察するなど、ハードスジュールをこなしていたが、相当無理をしていたはずだ。

「心房細動を繰り返して人が発作を起こすと、再真田祥一氏」

「心房細動を繰り返して人が発作を起こすと、再真田祥一氏」

「心房細動を繰り返して人が発作を起こすと、再真田祥一氏」

「心房細動を繰り返して人が発作を起こすと、再真田祥一氏」

「最悪のケースでは、計算があつたはずだ」

「最悪のケースでは、計算があつたはずだ」

「最悪のケースでは、計算があつたはずだ」

「最悪のケースでは、計算があつたはずだ」



悔やまれる入院までの2時間の空白

悔やまれるのはほんのわずかな時間とはいえず、長嶋氏の入院が遅れたこと、きのうの会見で「く左右する、亡くなった」

「脳梗塞は時間の経過とば健診に訪れていたといが再び聞かれるのはいつになるのか。」

「脳梗塞は時間の経過とば健診に訪れていたといが再び聞かれるのはいつになるのか。」

見落とされていた脳梗塞の前兆

長嶋氏は4日朝、突たど会見で話している。何らかの兆候が表れるのは万全ではなかった。実は、昨年11月のアテ五輪予選の直後にも、体調で、2時間ほど寝かせ健康だった人が急に倒れ「脳梗塞は倒れる前、相も、倒れる直前の記者を崩して都内の病院に救ておいた」

「脳梗塞は倒れる前、相も、倒れる直前の記者を崩して都内の病院に救ておいた」

「脳梗塞は倒れる前、相も、倒れる直前の記者を崩して都内の病院に救ておいた」

強奪



真っ昼間の銀座の事件現場

警察の面目

「外国人は日本の警察を完全にナメています。窃盗で逮捕なら本国送還で済むし、殺人でも無期懲で逃走したのです」(捜査事情)

「外国人は日本の警察を完全にナメています。窃盗で逮捕なら本国送還で済むし、殺人でも無期懲で逃走したのです」(捜査事情)